子育て関係施設従事者

調査対象者の状況

Ｆ１　初めにあなたご本人のことについておうかがいします。（それぞれ○は１つ）

（１）性別

１．男	２．女

（２）年齢

１．３０歳未満	２．３０～３９歳	３．４０～４９歳
４．５０～５９歳	５．６０歳以上	

（３）施設の種類

１．区立保育園	２．私立保育園	３．認証保育所
４．保育室	５．駅型グループ保育室	６．児童館
７．学童クラブ	８．子育てのひろば	９．ＮＰＯ子育て支援グループ
10．児童養護施設	11．区立幼稚園	12．私立幼稚園
13．保健相談所	14．厚生文化会館	15．地区区民館

（４）職種

１．保育士	２．幼稚園教諭	３．児童指導員
４．保健師	５．看護師	６．栄養士
７．その他（	）	

子育て支援に関する悩み、不安等について

問１　あなたが関わっている子どもに対して、「近頃こんな子どもが増えている」と悩んでいることはありますか。

（１）３歳未満幼児、（２）３歳以上幼児、（３）小学生、それぞれについてご記入ください。

（（１）～（３）とも、それぞれ○はいくつでも）

	(1) ３歳未満幼児 ↓ある場合に○	(2) ３歳以上幼児 ↓ある場合に○	(3) 小学生 ↓ある場合に○
１　言葉や行動が乱暴である	1	2	3
２　友達に優しくない	1	2	3
３　夜遅くまで起きている	1	2	3
４　朝食抜きである	1	2	3
５　生活が規則正しくない	1	2	3
６　自己中心的である	1	2	3
７　友だちと協調できない	1	2	3
８　あいさつができない	1	2	3
９　人の話を聞けない	1	2	3
10　集中できない	1	2	3
11　基本的生活習慣の自立が遅い	1	2	3
12　体力がない	1	2	3
13　我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	1	2	3
14　その他（　　）	1	2	3

問２　あなたが関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対して、「近頃こんなお母さん、お父さんが増えている」と悩んでいることはありますか。

（１）お母さん、（２）お父さん、それぞれについてご記入ください。

（（１）、（２）とも、それぞれ○はいくつでも）

	(1) お母さん ↓ある場合に○	(2) お父さん ↓ある場合に○
１　権利意識が強い	1	2
２　子どもに過保護・過干渉である	1	2
３　子どもを放任する	1	2
４　子どもの発育・発達に敏感である	1	2
５　子どもの発育・発達に無頓着である	1	2
６　食事に無頓着である	1	2
７　しつけや教育に熱心でない	1	2
８　子育てに不安感・負担感を持っている	1	2
９　子育てに喜びや充実感を持っていない	1	2
10　子どもとの接し方、遊び方がわからない	1	2
11　子育てに自信がない	1	2
12　子育てをマニュアル化して考える	1	2
13　育児知識を振り回す	1	2
14　その他（　　）	1	2

問３　あなたは、家庭・保護者との連携に関して、どのようなことを重視していますか。（○は主に重視しているもの３つ）

１．児童家庭調査票	２．母子健康手帳	３．連絡帳
４．保育園、幼稚園便り	５．クラス便り	６．保健便り
７．給食便り	８．登園・降園時、来所時の連絡	９．保育参加・参観
10．保護者会	11．行事	12．家庭訪問
13．子育てに関する相談	14．保育方針等についての保護者との話し合い	
15．緊急時の連絡	16．その他（　　）	

子育てに関する情報、相談の状況について

問４　あなたは、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていますか。（○はいくつでも）

１．職場内の同僚	２．職場以外の知り合い、出身校などのツテ
３．国担当部署からの印刷物・報告書	４．都担当部署からの印刷物・報告書
５．区担当部署からの印刷物・報告書	６．テレビ、ラジオ、新聞
７．乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌	
８．保育・幼児教育、小児保健等に関する学術学会・研究会の機関誌	
９．保育関係団体の発行する月刊誌、図書	10．インターネット上のホームページ
11．その他（　　）	

問５　あなたは、次のような子育てについての相談の内容にどの程度関わっていますか。（なお、ここでいう相談とは、入所の問い合わせなどは含まず、育児・子育てに関する相談とします。）（○はそれぞれ１つ）

	1 よくある	2 時々ある	3 ほとんどない
1　睡眠・食事等の基本的生活習慣	1	2	3
2　身体の発育・社会性の発達等	1	2	3
3　病気・怪我等の医学的問題	1	2	3
4　家庭・地域等の生活環境	1	2	3
5　しつけ・教育等の育児方法	1	2	3
6　その他（　　）	1	2	3

問６　あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。（○はいくつでも）

1．親族（親・兄弟姉妹など）	2．隣近所の人、地域の知人、友人
3．子育てサークルの仲間	4．保育園、幼稚園、学校
5．児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など	
6．保健所、保健相談所	7．区の広報やパンフレット
8．テレビ、ラジオ、新聞	9．本（子育て雑誌・育児書）など
10．インターネット	11．地域情報誌（コミュニティー誌）
12．その他（　　）	13．情報の入手先がない
14．情報の入手手段がわからない	

問７　あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。（○はいくつでも）

1．配偶者・パートナー	2．その他の親族（親、兄弟姉妹など）
3．隣近所の人、地域の知人、友人	4．職場の人
5．保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	6．子育てサークルの仲間
7．保育士、幼稚園の先生、学校の先生	8．かかりつけ医など
9．保育園、幼稚園、学校の区担当窓口	10．子ども家庭支援センター
11．児童館、学童クラブ、地区区民館	12．子育てのひろば「ぴよぴよ」「にこにこ」など
13．総合福祉事務所の母子自立支援員	14．民生・児童委員、主任児童委員
15．総合教育センターの教育相談室	16．保健所、保健相談所
17．児童相談所（東京都児童相談センター）	18．民間の電話相談
19．ベビーシッター	20．インターネットの子育てサイト
21．その他（　　）	22．相談すべきことはない

問８　あなたが子育てについての相談を受ける相手は、相談の対象となる子どもからみて、どのような関係の人ですか。（○はいくつでも）

1．母親	2．父親	3．祖母
4．祖父	5．兄弟姉妹	6．その他（　　）

問９　子育てについての相談の対象となる子どもの年齢で、多いのはどれですか。（○はいくつでも）

１．新生児から６か月未満児	２．６か月児から１歳未満児	３．１歳児
４．２歳児	５．３歳児	６．４歳児
７．５歳児	８．６歳以上児	

問 10　子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題がありますか。（○は１つ）

１．問題がある	２．問題はない

問 10－１　問 10 で「１．問題がある」と答えた方へ、それはどのような問題ですか。（○は主なもの３つ）

１．対応できる相談に限界を感じている
２．相談に時間や人手がかかる
３．相談専門の電話がない
４．日常業務に支障が出ている
５．専用の相談室がないために、プライバシーへの配慮の面から、相談を受けにくい
６．相談の担当者（相談員）がおらず、困っている
７．相談に対応するだけの実力不足を感じる
８．相談に関する自己研修をするなどの機会がない
９．専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上（研修等）の機会が少ない
10．困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打合せを行うなど、地域としての援助体制が弱い
11．思っていたよりも、相談件数が少ない
12．その他（　　）

問 11　あなたは、子育てについての相談を受けた場合、その後の援助をしていますか。（○は１つ）

１．援助している	２．特に援助していない

問 11－１　問 11 で「１．援助している」と答えた方へ、それはどのような援助ですか。（○は主なもの３つ）

１．相談が電話による場合、子どもを連れての来所をうながす
２．相談内容によって専門機関（保健所、病院、福祉事務所、児童相談所、等）を具体的に教え、紹介する
３．依頼者に、その後の経過や結果を教えてくれるように言う
４．場合によっては、家庭訪問する
５．子育てサークルや、子育てのひろばなどを紹介する
６．一時預かりの利用を勧める
７．育児講座等へさそう
８．その他（　　）

問 12　子育てについての相談で、あなたの組織だけで対応できない場合は、次のうちどの機関に紹介するケースが多いですか。（○はいくつでも）

１．保育園	２．幼稚園	３．学校関係者
４．児童館、学童クラブ、地区区民館	５．子どもの主治医	６．子ども家庭支援センター
７．区の子育て支援課、保育課、福祉事務所		
８．民生・児童委員、主任児童委員	９．区の保健所、保健相談所	10．嘱託医など
11．児童相談所（東京都児童相談センター）		
12．警察当局	13．その他（　　）	
14．紹介するケースはほとんどない		

子育て支援に関する連携、協力、虐待の状況について

問 13　あなたは子育て支援活動を行うに当たって、他団体とどの程度、連携・協力を行っていますか。（○は１つ）

１．絶えず連携・協力している	２．必要に応じて連携・協力している
３．あまり連携・協力していない	４．通常は連携・協力の必要がない

問 13－１　問 13 で「１．絶えず連携・協力している」、「２．必要に応じて連携・協力している」と答えた方へ、連携・協力の内容として多いものをお知らせください。（○はいくつでも）

１．日常的な情報交換を行っている
２．何か困ったことがあったときに相談している
３．困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まってカンファレンスを行っている
４．プログラムやイベントをともに企画している
５．プログラムやイベントを実施する際に人手等を貸し借りしている
６．プログラムやイベントを行う際にアドバイスを受けたり情報交換している
７．その他（　　）

問 14　あなたが関わっている子どもの中に、保護者から虐待を受けている子どもがいますか。（○は１つ）

１．受けている子どもがいる	２．受けていると思われる子どもがいる
３．受けていると思われる子どもはいない	

問 14－１　問 14 で「１．受けている子どもがいる」と答えた方へ、虐待の判断は主にどのような情報に基づいてなされましたか。（○はいくつでも）

１．子どもの保護者自身の訴え、相談	２．ほかの子どもの保護者
３．地域の住民	４．保育園
５．幼稚園	６．学校関係者
７．児童館、学童クラブ、地区区民館	８．子どもの主治医
９．子ども家庭支援センター	10．区の子育て支援課、保育課、福祉事務所
11．区の保健所、保健相談所	12．病院・診療所
13．嘱託医	14．児童相談所（東京都児童相談センター）
15．民生・児童委員、主任児童委員	16．警察当局
17．その他（　　）	

問 15　親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。（○はいくつでも）

１．児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる
２．子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる
３．子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる
４．保育園の増設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する
５．幼稚園の増設、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充する
６．幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実させる
７．保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減できるようにする
８．学童クラブの増設、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する
９．専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯ等による保育サービスを充実させる
10．安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する
11．多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする
12．残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける
13．子育てについて学べる機会を充実させる
14．交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化する
15．不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化する
16．その他（　　）

問 16　あなたは、あなたの職場で子どもを預かる際に、その身体の安全を確保し、危険な目に遭わないよう、どのようなことを心がけたり実行したりしていますか。（○はいくつでも）

1．玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している
2．外部の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらうようにしている
3．職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている
4．子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している
5．定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている
6．保護者に対して、防犯意識を高めるよう、「たより」等を通じて啓発している
7．保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている
8．その他（　　）

問 17　最後に、これからの保育施策や子育て支援施策等に関して、日常の子育て支援業務を行う中で、下記のような項目について地域で取り組んでいきたいとお考えになっていることがございましたら、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

（1）情報の提供、相談に関して	
（2）他機関との連携・協力に関して	
（3）区民にもっと活用して欲しいサービス内容やそのための方法に関して	
（4）サービスの質の向上に関して	
（5）苦情解決、利用者保護の仕組みに関して	
（6）その他	

ご協力ありがとうございました。封筒に入れ、封をし、施設経由でご返送ください。